



学部長ごあいさつ

保健医療学部長 大日向 輝美

乾公美前学部長の後任として、4月1日に保健医療学部長に就任いたしました。北海道の地域医療を担う次代のリーダー育成を目指して取り組んで参る所存ですので、保護者の皆さまにおかれましては、引き続きご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

学部長室の壁には、札幌医科大学の建学の精神が掲げられています。「進取の精神と自由闊達な気風、医学・医療の攻究と地域医療への貢献」一毎日、それを眺めながら、この理念を実現しうる人材を世に送り出していく役割と責任をかみしめます。それぞれの大学には独自の校風があり、歴史があります。医療人への夢を抱きつつ学力との兼ね合いで受験校を選択し、合格した本学への進学を決めて入学を迎えた1年生の春の時点で、他大学の新入生との違いは大きくはないと思われませんが、卒業するときには札幌医科大学の出身者らしい考え方や雰囲気身を身につけ、学び舎を巣立つこととなります。4年間の学生生活のなかで歴史と伝統によって作られた校風を自然に纏い、諸先輩の努力と実績で得られた信用と評価を追い風に、医療人として社会へと飛び立ちます。札幌医科大学65年の歴史において、保健医療学部は23年目を迎えました。この3月には19期生が卒業を迎え、医療人としての生涯にわたる道のりを歩み始めています。本学部が北海道において確固たる位置を築いているのは、教育・研究・実践を担ってきた教授陣、それを受け継ぎ本道の保健医療の発展と充実のために貢献してきた卒業生の実績によるものです。新入生を含め、今、この学部集う学生の皆さんは、建学の精神に謳われる札幌医科大学の伝統を育み、歴史を創り出していくことを期待される人たちです。新年度に当たって、皆さんの健闘をお祈りするとともに、教職員一同が大学・学部の発展のために、より一層努力して参りますことを改めてお伝えし、ご挨拶といたします。



【平成27年度 前期学事予定】（2～3学年）

- | | |
|-------------|-------------------------------|
| 4月 6日～4月10日 | 「保健医療総論2」（2年生）・「保健医療総論3」（3年生） |
| 4月13日 | 前期講義開始 |
| 6月11日～6月14日 | 大学祭 |
| 6月25日 | 大学記念日 |
| 8月 3日～9月6日 | 夏季休業（2年生） |
| 9月 7日～9月17日 | 前期定期試験（2年生） |
| 8月 3日～8月28日 | 夏季休業（3年生） |
| 8月31日～9月11日 | 前期定期試験（3年生） |
| 9月14日～ | 看護学科「老年看護実習」（3年生） |



平成26年度卒業式



平成27年度入学式

学科長ごあいさつ

平成27年3月20日に卒業式が行われ、看護学科48人が晴れやかな表情で卒業しました。今年も看護師・保健師ともに全員が合格して、本学の学生の頼もしさをあらためて実感するとともに、保護者の皆様のご支援に深く感謝しております。卒業生の多くは看護師・保健師として社会人になりますが、大学院や助産学専攻科への進学者も数人おり、それぞれの道に希望を携えて進んでおります。一方、4月3日には50名の新生を看護学科に迎えました。1人1人の表情は初々しくまた期待に満ちあふれていました。新生オリエンテーションにも積極的に参加しており、これからの学習を行う上で良いスタートを切ることができました。2年生は疾病に関する理解や看護の方法について学ぶ専門基礎科目が増え、後期には札幌医科大学附属病院で実習があります。3年生は多様な領域の看護方法について学ぶ専門科目が一層増え、本格的な実習が行われます。4年生は、引き続き専門科目を学習するとともに、「看護技術統合演習」「看護統合実習」「看護研究」などがあり、これらの科目を通して既習の知識と技術を統合して4年間の総まとめを行います。これからも教職員一同、学生1人1人の個性を大事にしながら、豊かな人間性と高度な実践力の育成に向けて努力する所存です。保護者の皆様におかれましては、引き続きご支援よろしくお願いいたします。



看護学科長
城丸瑞恵



理学療法学科
片寄正樹

過日、入学式から4日目、理学療法学科全教員13名および研究補助員2名と新生20名が集い、対面式とオリエンテーションを行いました。例年、本学科教員からの自己紹介に引き続き、新生一人一人からの本学への志望動機や、将来の夢を語る希望にみちた言葉を共有します。我々教員が、新生から心に留めるべき言葉をもらうとともに、在学生の入学時の言葉や姿を思い出す時期でもあります。

本学科の教育カリキュラムでは、2年生から理学療法の基礎科学となる運動学に加え、様々な病態を理解するため臨床医学の履修に入ります。3年生になりますと、理学療法専門科目の本格的履修が始まり、4年生での臨床実習など理学療法士となるべく全人的な実践的学習が求められてきます。3年進級時には卒業論文の作成にむけて教員研究室への配属がなされますが、大学院を有する本学では研究室所属の大学院生が学部生の卒業論文の作成指導にもかかわる環境が整備されています。学問のプロセスと深さ、そして臨床における科学的思考の重要性を認識するとともに、大学院生とのふれあいから自分の関心領域の確認や将来にむけた情報の収集などが行われる機会ともなります。

入学時に様々な希望を胸に入学した学生もこのような環境の中、高い「自己学習能力」と「人間性」のある人材を目指した教育を日々続けております。今後とも引き続き、ご支援を賜りますこと、何卒よろしくお願いいたします。

4月3日に20名の新生が入学し新たな年度が始まりました。保健医療学部では新学部長として大日向看護学科教授が就任し、それに伴い私が作業療法学科長を拝命いたしました。前学科長である松山教授の方針を引き継ぎ、学生の学習や生活支援に保護者の皆様と連携し取り組んでいきたいと考えています。

新学期のスケジュールとしては、4年生は4月13日から総合臨床実習が開始されます。この実習は9月末までの間、6週間を3期間(18週間)、病院や施設で作業療法の実践を学ぶ実習です。学生はこれまでにない緊張感の中で実習を行うこととなります。学科では相談窓口を設け、支援を行う体制を作りサポートしていきます。3年生は作業療法に関する専門教科が多くなり、4~5名の少人数で卒業論文などの指導をするゼミ配置も行われます。10月には2週間にわたって実際に対象者に対しての評価(検査)を学ぶ病院や施設での実習があります。作業療法に関する知識・技術が深まる時期であり、学習への取り組み姿勢も変化してくる事を期待しています。2年生は3年生に進級するために、一般教養科目の26単位と専門基礎・専門の必須科目の単位を修得しなければなりません。大学生活になれて緊張感が乏しくなる時期なので、個別面接などを通して自己管理の大切さを伝えていきたいと考えています。

作業療法学科では学生担任教師2名体制で、きめ細やかな学生支援を行っていきます。保護者の皆様には、何かあれば学生担任教員にご連絡を頂きご相談いただけますようお願いいたします。



作業療法学科
仙石泰仁

「平成26年度医療接遇特別講演会」 (平成27年3月9日(月)開催)



この講演会は、保健医療学部を卒業する4学年を対象に、社会人としての基本的な接遇に加え、医療現場における接遇スキルを学び、実践に生かすことを目的として、平成24年度より開催しております。今年度は、講師として、全国の医療機関・教育機関等において接遇コンサルティング、接遇研修を行っているラ・ポール株式会社代表取締役の福岡かつよ先生をお迎えしました。



当日は、福岡先生より社会人としての心構えについて、信頼関係を構築し、相手との良好な関係を築くためには接遇が必要であること、接遇の心は相手の立場を思える心、謙虚さを保つ心であり、その原則として身だしなみ・距離感などの非言語コミュニケーションが大切であること等、ご講演いただきました。また、接遇の基本姿勢についてグループディスカッションを行い、ポスターを作成してプレゼンテーションを行うというグループワーク等を交えた学生参加型の活発な講演会となりました。



講演会終了後は、学生から「福岡先生の「医療人を元気にする」というパワーが伝わってきた。」「講演内容は興味深く、あっという間の3時間だった。」「学んだことを心に留め、医療人として出発したい。」といった感想が寄せられました。



平成26年度保健医療学部表彰

保健医療学部では毎年度本学部を卒業する学生と進級制限が設けられている2年生を対象に、学業成績および人物が優秀で他の範となる学生を最優秀者、優秀者として表彰する制度を設けています。卒業生は卒業式に、2年生は次年度の教授会にて表彰されました。平成26年度は以下の学生が表彰されました。

卒業生表彰者

最優秀賞

看護学科 (朝比奈嫩葉賞) 矢和田はるか
理学療法学科 (理学療法学賞) 高見次郎
作業療法学科 (作業療法学賞) 早崎涼太

優秀賞

看護学科 鈴木里奈
理学療法学科 山口亨
作業療法学科 門田紗瑛子

2年生表彰者

最優秀賞

看護学科 西香奈美
理学療法学科 高橋夢子
作業療法学科 飯田滉大

優秀賞

看護学科 中武延
理学療法学科 喜多本翼
作業療法学科 野地実良久

～2年生表彰者の受賞コメント～



西 香奈美 (看護学科)

今回このような賞をいただき、本当に嬉しく思います。今まで支えて頂いた先生方、同じ看護を勉強している仲間、そして何より家族に感謝したいと思います。これからも最優秀賞に恥じないように頑張りたいです。



高橋 夢子 (理学療法学科)

受賞の報せを受け、勤めていた会社を辞めた日のことを改めて思い出しました。いつでも自分勝手な私の決断を応援し、その後の学生生活を支えてくれている大切な人たちに感謝しています。ありがとうございます。私にとってこの大学で学ぶことはとても楽しく幸福なことです。今後も常に自分らしく貪欲に学び、学生生活を謳歌したいと思います。



飯田 滉大 (作業療法学科)

今回、最優秀賞に選んで頂き誠にありがとうございます。このような光栄な賞をいただくことができ、大変嬉しく思います。これは日頃からお世話になっている教職員皆様や優秀な仲間達、そしていつも支えてくれる両親のおかげであると考えています。これからもこの結果に満足するのではなく、向上心を忘れず、努力を怠らず、精進していきたいと思っています。

中武 延 (看護学科)

この度は看護学科の優秀賞に選んでいただきありがとうございます。このような賞をいただくことができ、大変嬉しく思います。まだまだ至らない点も多いので、今後はこの賞に満足することなく、今まで以上に勉学においても努力していきたいと思っています。

喜多本 翼 (理学療法学科)

この度は理学療法学科の優秀賞を頂き大変嬉しく思います。こうして大学で勉学に集中できるのは、両親や先生方をはじめ、支えてくださっているすべての方々のおかげだと思っております。これからもこの賞に恥じぬように仲間たちと切磋琢磨しながら、より一層、勉学に励んでいきたいと思っています。

野地 実良久 (作業療法学科)

この度は優秀賞を頂くことができ、大変嬉しく思います。入学してからはやくも2年が経ちました。尊敬する先生方、支えてくれた両親、同期の仲間々に改めて感謝いたします。3年の学びでは、より専門的な領域へと進んでゆくとありますが、引き続き学びに対する意欲、興味の心を大切に、学生生活を過ごしたいと思います。

平成26年度卒業生の国家試験合格状況

- 第104回看護師国家試験 (2月22日実施、3月25日合格発表)
48名が受験し、全員が合格しました！
合格率は100.0%と、全国平均 (90.0%) を上回り、12年連続合格率100%を達成しました！
- 第101回保健師国家試験 (2月20日実施、3月25日合格発表)
48名が受験し、全員が合格しました！合格率は100%と、全国平均 (99.4%) を上回りました。
- 第50回理学療法士国家試験 (3月1日実施、3月30日合格発表)
20名が受験し、全員が合格しました！
合格率は100.0%と、全国平均 (82.7%) を大きく上回りました。
- 第50回作業療法士国家試験 (3月1日実施、3月30日合格発表)
19名が受験し、全員が合格しました！
合格率は100%と、全国平均 (77.5%) を大きく上回りました。



【お問い合わせ先】

札幌医科大学事務局学務課保健医療学部教務係
電話:011-611-2111(内線2192)